

イデックスオイルレポート ~For a month~

2022年8月1日作成 (株)新出光

【月次概況】

●第2週、週末7/8のWTI原油は、先週比3.64ドル安の104.79ドルとなりました。各国の利上げに伴う景気減速への警戒感が台頭しエネルギー需要見直しにも懸念が強まり、軟調な基調が続きました。また、対ユーロでドル高が進行しドル建てで取引される商品の割高感に繋がりました。また、中国で新型コロナウイルスの感染が再び拡大し、各地で感染防止措置が強化されており、世界経済の先行きにも影響するとの見方から売り材料視されました。

●第3週、週末7/15のWTI原油は、先週比7.20ドル安97.59ドルとなりました。米労働省が13日発表した6月の消費者物価指数(CPI)は前年同月比9.1%上昇し40年半ぶりの高水準になりました。積極的なペースでの米利上げが景気減速(リセッション)を招くとの見方は広がり原油は売られました。

●第4週、週末7/22のWTI原油は、先週比2.89ドル安の94.70ドルとなりました。米エネルギー情報局(EIA)が発表した週間在庫統計では、ガソリン在庫が前週比350万バレル増と市場予想の10万バレル増を大幅に上回り、ガソリン需要先行きに懸念が広がりました。また、欧州中央銀行(ECB)が、政策金利の0.5%引き上げを決定したことにより、利上げに伴う域内の景気後退(リセッション)に警戒感が広がり原油は売られました。また保守点検のため稼働が停止していたロシアの天然ガスパイプライン(ノルドストリーム)について点検が終わり、ドイツへのガス供給が再開したこととイタリアの供給再開などを背景に売られ続きました。

●第5週、月末7/29のWTI原油は、先週比3.92ドル高の98.62ドルとなりました。ロシア国営天然ガス独占企業ガスプロムは、タービンの技術的問題を理由にノルドストリーム1経由でのドイツ向けガス供給を供給能力の20%まで縮小すると発表しました。これによりガスから原油への切り替えが一層加速するとの観測が台頭しました。また米エネルギー情報局(EIA)発表では、原油在庫が450万バレル減、ガソリン在庫も330万バレルの大幅減で需要の回復を示す内容でした。一方、7月の消費者景気信頼感指数が3か月連続で低下し景気悪化や価格高騰に伴うエネルギー需要の鈍化懸念が再燃しました。また米商務省が発表した2022年4~6月期実質GDP(国内総生産)速報値は年率換算で前期比0.9%減と2四半期連続でマイナス成長となりました。

	7月平均	WTI原油	99.38ドル	前月比	▲14.96	為替 1ドル	137.79円	前月差	2.86円
--	------	-------	---------	-----	--------	--------	---------	-----	-------

日付	補助金	変動幅	変動幅
7/1~7/6	38.4	-8.5	-8.5
7/7~7/13	40.8	+2.0	+2.0
7/14~7/20	38.9	-5.5	-5.5
7/21~7/27	36.6	-1.5	-1.5
7/28~7/31	39.0	+2.5	+2.5

メニュー価格推移 平水湾内T/S持ち届け (サイト60日)	0.5HPP		ENEOS LS船用燃料油基準価格	
	2022年4-6月C重油決定価格	105.210	110.110	105.210(メニュー)+4.900(プレミアム)
2022年7-9月C重油仮価格	122.000	128.580	122.000(メニュー)+6.580(プレミアム)	
2022年7-9月C重油決定価格			(メニュー)+(プレミアム)	
決定価格4-6月比				

内航燃料油価格推移	適合油価格	
	A重油	
2022年4-6月C重油決定価格	105.300	114.800
2022年7-9月C重油仮価格	133.480	
2022年7-9月C重油決定価格		
決定価格1-3月比		

CIF価格推移	年/月	9析速報	原油CIF価格	通関CIF	為替レート	原油CIF価格
			円/kl	ドル/bbl	円/ドル	前月比
	22/6	9析速報	95.876	116.92	130.37	8.273
	22/7	最終予測	101.066	118.24	135.89	5.190
	22/8	展望	91.022	111.32	130.00	-10.044
	22/9	展望	87.547	111.35	125.00	-3.475

【次世代エネルギー】 <商品配送に水素トラック60台導入 福島県とトヨタが全国初 来年1月から郡山、いわき両市で>

水素を燃料とした車両による物流の社会実証を目指していた福島県とトヨタ自動車(本社・愛知県)は来年1月から、郡山市といわき市で地元スーパーや大手コンビニの商品配送に水素で走る燃料電池トラック約60台を順次導入する。燃料電池トラックが実用化されるのは全国初。燃料に県産水素を活用し、本県から水素社会の実現を発信する。19日、新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の水素社会モデル構築事業として採択を受けた。郡山市といわき市で燃料電池小型トラックを運用するのは14事業者で、今後、大型トラックの導入も予定している。県内から7社が参加し、県がトラックを運用する事業者の経費を補助する。水素の一部は浪江町にある世界最大級の水素製造実証拠点「福島水素エネルギー研究フィールド」で造られた再生可能エネルギー由来の「グリーン水素」を活用する。両市には定置式水素ステーションが一施設ずつ稼働している。実用化を通して、水素ステーションの最適な配置や渋滞回避、燃料補給までの移動時間に要する停車時間の短縮などを検証し、新たなシステムとして構築を目指す。全国には両市と同じ人口30万人規模の都市が比較的多く、各地で応用につなげる。NEDOの助成事業として、デンソー福島(田村市)は今年度、工場内で水素の地産地消に取り組む。新たに水電解装置を開発し、工場内で年間28トンの水素を製造する。材料を加工するガス炉の燃料として水素を自家消費する。

出典 ①<https://www.minpo.jp/news/moredetail/2022072098929> ②<https://news.yahoo.co.jp/articles/6d13d4d32bf43f871a792327f5e7376bce14af32>

【8月価格変動要因】

●需要:原油価格の上昇とインフレの進行によって原油需要は、減少懸念にさらされていますが、発電関連の需要と中国経済の回復が相まってわずかながら需要は従来の水準を維持しています。2022年の原油需要の伸びは、前年比1%強になる予想です。

●供給:6月の世界生産量は前月から0.69MBD増加し99.5MBDになりました。背景には、ロシアの生産と米国・カナダの増産があげられます。年末には、さらに1.8MBD増加し101MBDに増加する見込みです。

●在庫:米国の原油在庫は、引き続き過去5年で2番目の低水準です。但しSPR放出の効果もあって一時期ほどの逼迫感、消えつつあります。一方でガソリンは、過去5年で最低水準に位置しておりタイト感が残ります。ハリケーンシーズンを間近に控えて心もとない水準と言えます。

●リスク資産:現地時間27日に開かれたFOMCで2会合連続で0.75%の金利上げを行いました。一方でパウエル議長は、利上げペースの減速について言及しておりややハト派と市場は捉えました。今後1か月については株式相場中心に堅調な推移が見込まれますが、果たして本当に利上げペースを落とせるかは、今後のインフレ次第と思われます。

●地政学:バイデン大統領のサウジ訪問は、成果もなく失敗に終わりました。次第に中東諸国の増産余地がないことが明らかになってきており価格急騰のリスク自体は高まっています。またロシアも欧州向けのガス輸出を絞り込んでおりその動向次第では、ロシア・欧州の間で新たな火種が発生する可能性があります。

【8月価格変動要因】 (単位:US/bbl)

	Brent	WTI
High	110	105
Average	105	100
Low	100	90

日付	国	8月経済指標カレンダー	日付	国	8月経済指標カレンダー
1	米	7月ISM製造業景況指数	17	米	米連邦公開市場委員会(FOMC)議事要旨
3	米	7月ISM非製造業景況指数	18	欧	7月消費者物価指数(HICP、改定値)
5	米	7月失業率	23	米	7月新築住宅販売件数
5	米	7月非農業部門雇用者数変化	25	米	4-6月期四半期実質国内総生産(GDP、改定値)
5	米	7月平均時給	26	米	7月個人消費支出(PCEデフレーター)
10	米	7月消費者物価指数(CPI)	31	欧	8月消費者物価指数(HICP、速報値)
17	欧	4-6月期四半期域内総生産(GDP、改定値)	31	米	8月ADP雇用統計
17	米	7月小売売上高			

当レポートは、情報提供のみを目的としておりますのでお取引の判断については、御自身で行って頂くようお願い致します。